

第3回社会福祉学教育FD/ICT活用研究委員会議事録

日時：2010年12月18日 14時～16時半

場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

出席：天野、戸塚、山路、井上、前田（以上、委員）

井端事務局長、森下主幹、松本職員

確認事項：

事務局より、最近の状況についての新聞記事等に基づく情報提供があり、論点が説明された。その上で、本協会および委員会がめざすべき方向性が示された。

1. 5年後を目指した4年間の学びができる前程の授業モデルを提案すること
2. グループで協働して学ぶ、考えさせる学び、振り返り学習ができる社会のニーズに合致した授業をめざすこと
3. 単位取得で無く、学んだ成果が社会で活かせる「社会に関与できる」力をつけさせる授業モデルを意識したものにする

協議事項：

福祉は伝統的に小グループ活動、施設訪問、実習などを通じて社会に関与できる学習を行っているが、このことも踏まえて新しい授業モデルを検討することとし、委員が作成したら授業モデルの説明を行い、内容に基づく議論がなされた。結果、以下のことが合意された。

・ 到達目標1のモデル

到達目標①から⑨の内容は良いが少し圧縮する。

感じる、考える、悩む、問題意識、出した課題に対して共感や自らと関連して考えさせる授業設計にする。

映像教材は15分程度が視聴の限界であるとする。

国家試験対策に偏らない教養としての福祉を学ぶ幅広い授業モデルとする。

・ 到達度2のモデル

- ・ 一つの授業15回で完成するものではないので、4年間を通して身につける、1年次、2年次、3年次、での到達度、を描く。

- ・ 同じ学生、他のグループとの連動、上下の学年との連動を考える。
- ・ 一つの授業ですべてを身につけることは不可能、他郷かとの連携や4年間のスパイラル学習をイメージして例示してはどうか。

結論

次回までに到達目標1を2名の委員がまとめる、到達目標2, 3, 4について担当委員がまとめて再度検討する。

次回の日程： 2月7日（月）13時30分～

次回の宿題： 到達目標別のモデル案を作成し、2月7日までにメールで連絡する。